



セクシュアルマイノリティボランティアサークル



URL <http://gochamazetamago.main.jp/>
E-mail gochamazetamago@yahoo.co.jp

映画祭会場内にて、IDAHOメッセージ展を開催しました！

7/10（日）青森市のシアター&カフェディクトで行われた「第11回青森国際LGBTフィルムフェスティバル」とコラボ開催しました(*^*) ご来場・応援ありがとうございました！



☆ご来場者・参加者の声☆

私は基本クローゼットとして生活しており、セクマイ関連のイベントにも、ほとんど参加したことはありません。

普段はひっそりと生活している、そんな私が会場に足を運んだのは、シンプルに、自分以外の当事者の「声」に触れたいと思ったから。

当事者と一言と言っても、感じ方や生活環境は当然一人ひとり違います。メッセージを通して、個々の苦しみや喜びをリアルに感じる事ができました。

「自分だけではない」「こんな人も居る」その思いは、これからの自分の糧になっていくと思います。ありがとうございました。（K）

今回、会場が違ったのでどんな雰囲気なのだろうかと、当日まで手探りの状態でした。今までと展示の仕方も変わり準備が大変でしたが、多くの方に来ていただいて嬉しかったです。

大学生の方から外国人の方まで、年代や国境を越えて参加してくれたということが私の中で大きくて、それだけセクマイに対して関心を寄せているのだなと素直に嬉しかったです。特別な存在ではなく、身近に存在している、切り離れた考えや社会ではなく共生なのだということを感じた1日でした。（海香）

一
会
場
に
合
わ
せ
て
展
示
の
方
法
を
変
え
て
も
の
の
、
反
省
点
も
多
い
も
の
に
！



多様な『私』のいる図書室

性的マイノリティや事実婚の当事者が「生きている本」として体験や思いをお話します。
是非みなさんも「読者」となって、多様な生き方に触れ、心を拓いてみませんか？

参加無料☆

- 日程：11月6日(日)
- 時間：午前の部 … 10:00～11:30
午後の部 … 13:30～15:00
- 場所：アピオあおもり 2F グループ活動室（青森市中央3丁目17-1）
- 定員：午前、午後とも各12名 ※要事前申し込み

申し込みは、①お名前、②ご連絡先、③希望の時間帯(午前・午後・両方)を明記して、下記までご連絡ください。

E-mail：gochamazetamago@yahoo.co.jp / FAX：0172-88-7728

※定員に達した場合は受付終了となりますので、ご了承ください。

☆☆☆ どんなイベント？ ☆☆☆

1人の「本」と3～4人の「読者」がグループになって、本の方のお話を聞きます。普段あまり会う機会のない当事者との対話を通して、これまで知らなかった課題や固定観念に気づいたり、理解を深めるきっかけにするものです。

今回は6人の本が揃いました。午前・午後の各部とも、3グループずつ2回の読書タイムを開催します。半日参加で2人、1日参加すると4人の本のお話を聞くことができます。当日配布するプログラムで、貸出順をご確認ください。

プログラムは、スクランブルエッグ公式ブログでも後日ご案内予定です。

※下記の2タイトルは、予備の本です。次頁のラインナップの本が貸出できなくなった際に、代わりにお貸しいたします。

『性別迷子』

予備の本

僕は女性として生まれて、今は男性として生活している。そうやって言ったら、絵に描いたような性同一性障害の当事者だ。でも僕は、こんな未来を予測したことなんかなかった。

僕という1人の人間が生きてきた、幾通りかの性別と、葛藤の日々。それは長い自分探しの旅の始まりだった。

『越境 ～性別変更ビフォーアフター』

予備の本

性同一性障害で、女性から男性に性別を変更した僕。自分の中での違和感はずっと軽くなったけど、30年間女性として暮らしてきた僕は、突然始まった男性としての日々戸惑ったりもする。

男と女の見えない境界線を越えた時に、僕の社会生活に何が起きたのか？

「生きている本」の ラインナップ

『ピース・オブ・マイライフ』

わたしは、女の子が好き。LGBTで言ったら、L。でもその言葉だけが知られていっても、わたしの姿は見えなままな気がして。

だから、それは本当のわたしの1pieceなんだよって知ってほしくて、話してみようと思ったの。わたしのこれからのPEACEのために。

『In the middle』

出来る事は何でもやろうと思った。例えそれが、自分の持って生まれた性別を利用する事でも。

女の自分と男の自分。ボクがボクに成る為にはきっとそれらが必要な事だったんだろう。真ん中を生きる、そんなトランスジェンダーの話。

『別姓・事実婚夫婦の 5年間』

夫婦別姓での事実婚を選択した夫婦のお話。自分の姓をもち続けたい妻と、妻の改姓を望みながらも妥協した夫と、事実婚に反発したり不満を抱いたりしながらも黙認するそれぞれの家族の5年間。

なぜ「女だから」改姓するのが「当たり前」なのでしょう。事実婚から日本の結婚制度の「当たり前」を問い直してみませんか？

『ボーダレス』

この社会の中に、様々な性別やセクシュアリティがあるなんて知らなかったし、身近にいるなんて思わなかった。

セクシュアルマイノリティに関心がなかったわたしが、このサークルに参加して一緒に活動している、そのきっかけと思いついて。

『別にフツーに幸せ』

色んな出来事あるけど、「私フツーに幸せだよな〜」って思う。

仕事して、結婚して…そんなMtFの私のことをちょこっと聞いてみませんか？ (^▽^)

『アスペルガーは

エジソンになれるか？』

LGBT&アスペルガー症候群(発達障害の一種)の当事者である私。巷ではアスペルガーの人って突出した能力の持ち主と言われることが多いのですが…何か違う気がする。このもやもやはどうしたらいい？

ということで、今回はアスペルガーだったと言われる発明王・エジソンを題材に、発達障害とその誤解について語ってみることにします。

『“セクシュアリティ”って何？』

性の多様性にアプローチするための、基礎的なお話。性のあり方は、二択じゃない？！

Smash Hit!

『性別がない!』／新井祥／ぶんか社



作者の新井祥さんは30歳まで女性として暮らしてきましたが、染色体検査で半陰陽※だと判明。縮胸手術を受け、以後セクマイ界のトップランナーとして創作活動をしています。

自身の体験や読者の相談などをマンガとして描いていて、セクマイに関することはもちろん、名古屋のこと、美容、健康、旅行、ペット、性的な話など、幅広く取り上げているお薦めの作品です。(ユカコ)

※作者の自己紹介等より。現在の医学用語では「性分化疾患」と表現されます。

【東北各地でイベントを開催している団体】

- 青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル
<http://www.aomori-lgbtff.org/>
- 性と人権ネットワーク ESTO
<http://akita.cool.ne.jp/esto/>
- 岩手レインボー・ネットワーク
<http://ameblo.jp/iwaterainbownetwork/>
- ♀×♀お茶っこ飲み会・仙台
<http://blog.goo.ne.jp/ochakkonomi>
- Anego
<http://blog.canpan.info/anego/>
- やろっこ
<http://sendai865.web.fc2.com/>

☆☆☆メルマガ登録受付中!!☆☆☆

スクランブルエッグでは、メールマガジンを時々発行しています!登録は無料です(^-^)

「無理せず楽しく、自分達の生活を大事にしながら、できることをしてみよう!」というのがモットーの当たまご。イベント自体は年に2~3回程度ですが、開催のお知らせのメール等を配信させていただく予定です。

登録ご希望の方は、件名に「メルマガ希望」と入れて、gochamazetamago@yahoo.co.jp までご連絡くださいね!

オリンピックと多様な性

今年開催されたリオデジャネイロオリンピック(リオ五輪)。この大会は、性的指向をカミングアウトしている出場選手が40人以上と、歴代で最も多かったそうです。

2014年にロシアで行われたソチ冬季五輪では、同性愛に差別的なロシアの政策が国際的に批判されました。今回、リオ五輪の委員会では「LGBTの権利尊重に関する誓約書」に署名。ピンバッジやマグネットなどのLGBTQ関連商品も公式に販売されたとのこと。



そんなリオ五輪では、公開プロポーズもずいぶん話題になりました。異性カップルも同性カップルも複数いました。とても嬉しそうな笑顔や、感激の涙…様々なカップルの写真が、ネット上にもたくさん掲載されました。

愛の形、決意、二人の幸せには、性的指向の違いは関係ないんだと改めて感じました。

五輪以外の場でも、愛し合う二人が変わりなく祝福されるようになったらいいなあと思います(*^^*)(創)

【にじたまの主な設置場所】

青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」／青森市民図書館／青森市男女共同参画プラザ「カダール」／弘前市立図書館／弘前市民参画センター／弘前大学／FMアップルウェーブ／藤崎町ふれあいずーむ館／平川市文化センター／スポカルイン黒石／五所川原市立図書館／八戸市立図書館／八戸市図書情報センター／八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」／十和田市民図書館／三沢市公会堂／むつ市立図書館